



西林寺境内 (ドローン撮影)



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば
遇うべき系に
出遇えることを
人は仕合わせと
呼びます



この頃より京都の本願寺では、後に「三業惑乱」と呼ばれる真宗教学史上最大の擾乱が惹起しました。これは全国を二分する大騒動になり、この時にいち早く糾明に立ちあがったのが大瀧和上です。普厳勸学は結核を患っていた大瀧和上に付き添い、騒動解決に尽力されました。

普厳勸学と大瀧和上(1)

西林寺の山門をくぐって境内に入ると左側、鐘楼の手前にふたつの墓があります。これは当山第8世住職で本願寺の最高学位の勸学職を拝命した普厳とその師匠で身命を賭して真宗念仏の法義を護ろうとした広島で一番有名な坊さんである大瀧和上の墓です。普厳勸学は安永5(1776)年に音戸大橋の近く現在の呉市警固屋町に生まれ、16歳の時、音戸の法専寺で得度剃髪しました。その後、大瀧和上を師事し、その学寮で学びました。21歳の頃、大瀧和上の勧めで当山に入寺しています。

仏教壮年会 あれこれ

総会及び懇親会

4月7日(日)新年度総会と花見を行いました。今年は5月より令和となり、仏教壮年会も結成50周年を迎える記念すべき年です。

何か次代に残せる事業を行うことが必要との意見がでました。



納涼ビヤガーデン案内

7月27日(土)午後5時から境内で行います。申し込み書を用意します。

ゲストにサククス奏者松田武彦氏をお迎えます。素晴らしい演奏をお楽しみください。

絵画展示



絵画クラブ「ブルーシー」の皆さまによる西林寺境内を描かれた絵画が、親鸞聖人降誕会のご法座に合わせ、西林寺本堂で展示披露されました。

花まつり

4月5日(金)お釈迦さまのご誕生をお祝いする「花まつり」を、若婦の会が中心となって満開の桜の中で楽しく行いました。お子さまにとつてかけがえのない体験となることを願っています。



キッズサンガのご案内



恒例のそめん流し

7月30日(火)10時から15時までの日程で行います。お友だちといっしょに、お寺で楽しい時間を過ごしましょう。申し込みは西林寺及び最寄りの仏教婦人会会員まで。



法座案内

孟蘭盆会

八月 十四日(水)昼席より
十六日(金)朝席まで

講師 呉市安浦町 信楽寺 広幡康祐師

盆踊り

八月十五日(木)夜席の後
西林寺境内

秋季彼岸会

九月二十二日(日)昼席より
二十四日(火)朝席まで

講師 島根県大田市 瑞泉寺 三明慶輝師

編集後記

豪雨災害から1年を迎えます。今年はいままで以上に梅雨や台風による大雨が心配です。復旧はなかなか進みませんが、復旧に取り組み皆さまのご尽力を感謝する思いを忘れないようにしたいものです。

5月よりスタートした「令和」はどういう時代になるのでしょうか。今を生きる私たちの担う大切な課題です。問いをもつことを大切に日々を送りましょう。

朝席7:00～・昼席13:15～・夜席19:30～

聞思録(もんしりく)

思いもよらない豪雨災害から1年が経過します。その記憶からあらためて確かめてゆかねばならないことは、私たちは人間に生まれ、さまざまな事柄と関係を結びながら生活し、そしていつか死んでゆかねばなりません。その中で自らのかけがえのない人生をどう意味付けしてゆくかということなのです。

『正信偈』に「修多羅に依つて真実を顕わす」という言葉があります。「修多羅」とはお経をつなぎ止める紐・糸のことで、織物の「経糸」を意味します。それはお釈迦さまの教えを永遠につなぎ止めるものという意味から、次第に「お経」「真実の教え」を指すようになります。

織物は「経糸」に「緯糸」が絡んでさまざま模様を作りだします。「経糸」は表面には出ませんが一貫して「緯糸」を支えています。その過程はまさに空間に時間を織り込んでゆく人生そのものにも譬えられます。対義語的な対立軸を「経糸」と「緯糸」として結婚披露宴等のスピーチでは「世の中は「経糸」と「緯糸」でできています。仕事という「経糸」と家庭という「緯糸」のバランスを大切に」とか、中島みゆきさんの歌の歌詞の「縦の糸はあなた 横の糸は私逢うべき糸に出逢えることを人は仕合わせと呼びます」など。

しかし、仏教では「運命」ということは説きません。本当に遇うべき「経糸」は、この世の価値観(自己中心的な執着心)を超えた真実の教え以外にありません。そのような「経糸」に出会うならば、「経糸」を依りどころとして心を育てて、人生のどんな困難も引き受け、乗り越え、いただいた出遇い(出来事)をすべて宿縁として喜ぶ身にお育ていただくのです。

そのような、生の依りどころ、死して帰るところを求めてゆかれたのが、宗祖親鸞聖人も歩まれた本願念仏の歴史です。私たちのご先祖も、人生のそれぞれの場面で、人との交わりの中で自分自身をみつめ、仏さまを添えた杖「経糸」としてこられたことでしょう。その場その場の自分の思いに縛られ、振り回されるばかりの生活は、結局、最後は空しい人生と感ずるのではないのでしょうか。

逢うべき人に逢えたから仕合わせになるのでも、夢が叶うから仕合わせになるのでもありません。自分にとっては都合の悪い出会いも、思い通りにならないことも人生にはたくさんあります。人生のすべての出遇い(出来事)に色付けられた自身の「経糸」は、確かな「経糸」の導きによって、無上の喜びと感謝に満ちた1枚の織物となるのです。それが「経糸」|| お念仏(真実の教え)をいただくということなのです。

仏教婦人会結成70周年

西林寺仏教婦人会は昭和24年1月に結成式を行い、70年を迎えました。正式名称は「西林寺森谷仏教婦人会」と本願寺には登録されています。これは西林寺8代住職普庵勤学(今号からの一面3段目「普庵勤学と大瀛和上」を参照)が号した「森谷」に由来するものです。また、仏教婦人会の月例会は普庵勤学の命日である24日に開催し、現在も毎月、浄土真宗のみ教えや仏事作法のイロハ等を住職より教示いただいています。



主な活動は、寺報内「仏教婦人会あれこれ」に報告の通り、毎月の月例会や奉仕清掃をはじめ、花まつり子ども大会・合同初参式・夏休みキッズサンガ・降誕会祝賀アトラクション・報恩講法座、1日研修旅行・本願寺参拝・ダーナ募金集金他、多岐にわたって活動しています。6月30日開催の仏教婦人会結成70周年記念大会の様子は次号「仏教婦人会あれこれ」で報告いたします。

仏教婦人会 あれこれ

追弔法要及び総会

4月17日(水)平成30年度に亡くなられた会員6名の追弔法要が厳かに執り行われました。続いて総会では、7月豪雨災害により、夏から秋にかけての多くの行事が中止されたことへの報告がありました。また土砂の撤去作業等のボランティア活動も報告され、改めて災害の大きさを感じました。



今年に仏教婦人会結成70周年の節目の年にあたり、記念行事も計画に組み込まれています。会員の方々の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

若婦の会といっしょに作った手作りジャムの販売は、盛況のうちにご協力ありがとうございました。ご協力ありがとうございました。



初参式

親鸞聖人のご誕生をご縁として、新しいいのちの誕生を奉告する初参式が、5月18日(土)に執り行われました。恵まれたいのちを阿弥陀さまの前で祝いしました。住職から念珠と記念品をいただき、浄土真宗門徒の仲間入りをされました。



祝賀アトラクション

降誕会法座の昼席終了後、祝賀アトラクションが開催されました。恒例の歌や踊りに加え、仏教役員による初披露の「親鸞おどり」や「腹おどり」、ご講師の飛び入り参加で盛り上がり、楽しいひとときで親鸞聖人のご誕生をお祝いしました。



仏教婦人会行事案内

- 一 本堂おみぎき 八月十二日(月)
- 二 盆踊り 八月十五日(木)夜席の後